

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

# 県高校総体

## 4人が入賞、近畿へ

### 田辺工業 重量挙げ

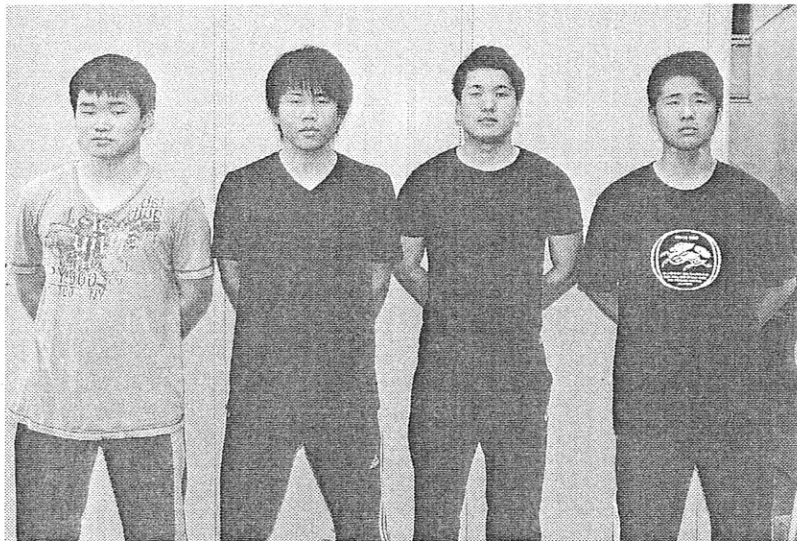
県高校総体のウエートリフティングがこのほど、和歌山市の和歌山東高校であり、田辺工業から4人が3階級で1〜3位に入賞したが、いずれも標準記録を突破できず全国高校総体(インターハイ)出場を逃した。4人は17〜19日に京都市である近畿大会に出場する。

県総体には男女で5校、35人が参加した。男子の部は9階級あり、バーベルを一気に頭上へ引き上げる「スナッチ」と、いったんバーベルを胸まで上げてから頭上に持ち上げる「ジャーク」の合計で競った。

田辺工業は、69キ級に出場した面屋聡紀君(2年)がスナッチ58キ、ジャーク70キの計128キで1位になったが、同階級標準記録の計170キには及ばなかった。同じく69キ級に出場した南真一君(2年)は計120キで2位、62キ級に出場した小田宏太君(2年)は計119キで2位、77キ級に出場した場合谷瞭君(1年)は計129キで3位だった。

インターハイには、標準記録を超えた9人が出場する。県総体で各階級の上位3人は、近畿大会に出場する。田辺工業の4人はいずれも

ウエートリフティング部に入って1年未満。4人は「近畿は標準記録を超えたい」と話している。



県高校総体のウエートリフティングで入賞した田辺工業の(右から)小田宏太君、面屋聡紀君、南真一君、場合谷瞭君